

注意報第6号

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員  
農業資材販売等関係者 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成19年度病虫害発生予察注意報第6号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第6号を発表したので送付します。

大豆、野菜類

1 病虫害名：ハスモンヨトウ

2 発生地域：県下全域

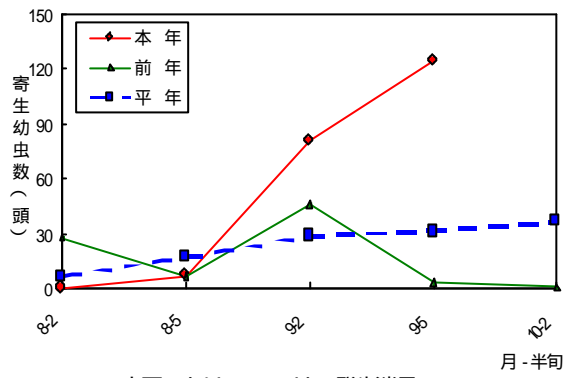
3 発生程度：多

4 注意報の根拠

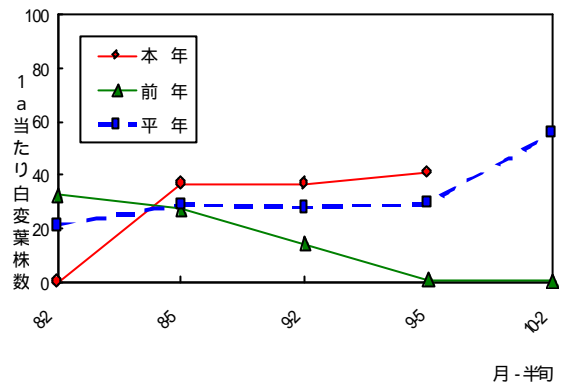
- (1) 9月5半旬定期調査の結果、大豆25株当たりの寄生幼虫数は124.5頭(平年31.3頭、前年3.2頭)で平年、前年より多い。また、1a当たりの白変葉株数は40.6株(平年29.4株、前年0.8株)で平年、前年より多い。
- (2) 9月21日付福岡管区气象台発表の1か月予報によると、気温は平年並か高いことが予想されており、ハスモンヨトウの発生に好適である。
- (3) 9月5半旬の定期調査では大豆以外にもイチゴ、キャベツ、ナスなどの野菜類においても発生が認められた。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 防除効果の高い若齢幼虫期に防除を行う。また、卵塊が見られるほ場では発生状況を観察し、若齢幼虫の発生を認めたら早急に防除を実施する。
- (2) 分散前の若齢幼虫が群棲している白変葉は直ちに除去する。
- (3) フェロモントラップによる防除適期は、誘殺ピークから10日目頃を目安とする。



大豆におけるハモトワの発生消長  
(25株当たり寄生幼虫数)



大豆における白変葉株数の推移

